

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 1 月 18 日作成)

小委員会名	津波荷重小委員会	主 査 名：壁谷澤寿一 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：五十田博 (主 査 名：森 保宏)
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築物荷重指針・同解説の 2024 年度の改定に向けて、既存の建築物や工作物の津波荷重および耐津波設計法に関する項目を精査する目的として設置する。</p> <p>初年度：英文化指針における構造本委員会の査読意見に対する回答を含め、必要に応じて指針案の修正を行う。</p> <p>2 年度：近年の自治体の津波防災計画や他の規基準の運用状況を踏まえたうえで、現実的に有用であるまたは適用可能な荷重算定式や研究的知見について整理し、取捨選択を行う。(1 年目)</p> <p>3 年度：近年の自治体の津波防災計画や他の規基準の運用状況を踏まえたうえで、現実的に有用であるまたは適用可能な荷重算定式や研究的知見について整理し、取捨選択を行う。(2 年目)</p> <p>4 年度：津波荷重指針の次期改定に向けて指針の骨子、素案作り等の準備作業を進める。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	<p>主査：壁谷澤寿一 (東京都立大学)</p> <p>幹事：浅井竜也 (名古屋大学)</p> <p>委員：奥田泰雄 (建築研究所), 長谷部雅伸 (清水建設), 有川太郎 (中央大学), 糸井達哉 (東京大学), 庄司学 (筑波大学), 館野公一 (鹿島建設株式会社), 中埜良昭 (東京大学 生産技術研究所), 西嶋一欽 (京都大学 防災研究所), 濱本卓司 (東京都市大学), 岩田善裕 (建築研究所), 福谷陽 (関東学院大学), 松富英夫 (秋田大学), 小山毅 (東京電機大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	津波ハザードリスク評価 WG 建築分野における津波遡上解析の精度確認と遡上解析において守られるべき共通項目について整理する。	
2021 年度予算	110,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) <small>*能力開発支援事業委員会承認企画</small>	
大会研究集会	1. パネルディスカッション「陸上建物の津波荷重に関する研究の現状」 『同名資料』 参加者数 68 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度	1. 自治体ヒアリング結果の整理や大会 PD 開催等当初の活動計画通り十分な成果が得られた
委員会活動の問題点	1. 学会員以外の専門家を委員に委嘱する手立てがない